社会とともに 環境

グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「地域社会」

(1) 地域社会との連帯と協調を図り、地域に根ざす企業として積極的かつ自主的な交流に努めます。

「地球環境」

(2) 資材調達から製造・流通・使用・リサイクル・廃棄まで、商品のライフサイクル全般にわたり地球環境への影響を考慮します。

(3) 地球環境の保護のために、関係法令および各種規制を遵守するだけではなく、積極的かつ自主的な取り組みを検討・実行するよう努めます。

(4) 地球環境に対する意識が高く、公私共に省資源・省エネルギーに努める人材を育成します。

シーガイア ビーチクリーンin一ツ葉

PHOENIX SEAGAIA RESORT

フェニックス・シーガイア・リゾートでは、宮崎県指定天然記念物である、アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした海岸清掃活動「シーガイア ビーチクリーンin一ツ葉」を2015年より実施しています。

毎年、地域住民の方やスポーツ少年団等の約100名の参加をいただき、産卵で陸地に向かうアカウミガメの障害となる、家庭ごみや流木などの回収を行っています。

清掃前にはNPO法人宮崎野生動物研究会会員で、宮崎市フェニックス自然動物園園長の出口 智久氏よりアカウミガメに関するお話をいただき、その生態を学ぶ場も設けています。









アカウミガメおよびその産卵地の保護を目的とした清掃活動

グリーン電力証書システムの導入

SEGA Holdings

日本自然エネルギー株式会社
http://www.natural-e.co.jp/

Green Power WATER / Green Power WIND / Green Power BIOMASS

日本自然エネルギー株式会社が風力・バイオマス・小水力などによるグリーン電力(自然エネルギー)の利用を証するマーク。

E 2005年4月より日本自然エネルギー株式会社と契約し、年間100万kWhの「グリーン電力証書(マイクロ水力、バイオマス)」を購入しています。さらに、横浜市神奈川区に設置している風力発電機(ハマウィング)を中心に行われる横浜市風力発電事業に賛同し、2007年4月より、「Y(ヨコハマ)-グリーンパートナー」として協賛しています。2018年度の実績は212,848kWhでした。

製品の環境配慮設計

SLS / SEGA Interactive / Sammy

E メダルゲーム機の「バベルのメダルタワー」において、従来製品「アラビアンジュエル」の消費電力と比較して55%削減するなど、省電力化への取り組みを継続しています。

これらアミューズメント機器は、現行製品の部品を新製品へリユース可能な設計にし、廃棄物抑制に努めています。また、整備・点検手順をマニュアル化して店舗で共有し、製品の長寿命化につなげています。アミューズメント施設では、日常整備の徹底などで機器の長寿命化を図るとともに、廃棄機器についてはセガ・ロジスティクスサービスで手分解し、100%リサイクルしています。同社では敷地内に産業廃棄物中間処理業者を招致し、処理コスト低減と不法投棄を防止するリサイクルシステムを全国展開し、「埋立ゼロ・単純焼却ゼロ」を達成しています。



使用済み中古機器の保管管理をセガ・ロジスティクスサービスが担当し、優良中古機器はリユース販売へ、不要機器は産廃処理の工程へ進めます。同社が敷地内に招致する産業廃棄物中間処分業者が素材別手分解を行い、機器の100%リサイクルを実施。アミューズメント機用の不要カードや用紙類、一部廃プラスチックは、代替燃料であるRPF(Refuse Paper&Plastic Fuel)となり、サーマルリサイクルにて熱回収されています。

遊 遊技機を構成している部品のリユース性を高めるため、設計・開発段階より部品・基板・ユニットの共通化を図り、3年前にリユースできる部品点数の目標値(パチスロ:50品目以上、ぱちんこ:15品目以上)を定めました。2018年度においては、どちらの目標値もクリア(パチスロ:約80品目、ぱちんこ:約30品目)し、2019年度からはリユース効率と品質向上に向け、中古遊技機を部品レベルまで細分解をせずユニット状態でのリユース化を推進していきます。また環境配慮の観点から、中古機の回収施策において従来の下取り条件を見直し、回収率が大きく向上しました(2016年度:47%→2018年度:74%)。

業界内においては、他メーカーと連携し、部品・ユニットのプラットフォーム化を図り、業界全体での環境負荷低減に向けた取り組みを進めています。

環境への配慮として、ほぼすべての遊技機で待機中のLED(装飾部など)の明るさを抑えるなどの消費電力を抑制するエコ機能を搭載しており、導入を開始した2014年度以前の機種に比べて消費電力の5%の削減につなげています。また、お客さまご自身で音量や明るさを調節できる機能を追加。このほか、パチスロ、ぱちんこにおいて鉛フリーはんだ部品使用率100%を達成しています。日本遊技機工業組合や日本電動式遊技機工業協同組合が、業界レベルで環境負荷物質の使用状況の把握と低減を目指す試みにも参加し、情報を共有しています。



パチスロ ディスクアップ
©Sammy



P北斗の拳8覇王
©武論尊・原哲夫/NSP 1983,
©NSP 2007 版権許諾証YSE-020
©Sammy



バベルの
メダルタワー
©SEGA

11年目を迎えた森林の里親活動

セガの森

E セガホールディングスでは、長野県が仲介役となって進める「森林（もり）の里親促進事業」の趣旨に賛同し、2008年4月より長野県南佐久郡南相木村と「森林（もり）の里親契約」を締結しています。その対象となる民有林約3,633ヘクタール（東京ドーム約773個に相当）を「セガの森」と名付け、CO_2吸収源となる森林の整備資金を一部提供することで地球環境保護に取り組んでいます。その整備によって、2018年度のCO_2吸収量は320.7t-CO_2でした。

また、地元の方々のご協力のもと、社員の地球環境保護に対する意識醸成の場としても活躍しています。2018年1月には、これまでの10年にわたる森林整備や地域交流などの功績が認められ、長野県森林づくり県民税活用の部にて長野県知事賞を受賞しました。

MAINTENANCE

森林整備

日常的に「セガの森」を守り、育んでくださっている村民の皆さまにご指導いただき、森林整備の大切さや大変さを身をもって学ぶ機会として、植林などの森林整備体験を毎年秋に実施しています。



EXPERIENCE

自然学習

自然を大切にする気持ちが次世代へと語り継がれていくことを願い、セガサミーグループ社員とその家族が一緒に体験できる、下草刈りや農作物の収穫、魚つかみなど、毎年趣向を凝らした自然学習イベントを夏に行っています。



EXCHANGE

地域との交流

村民の皆さまから、「南相木村の歴史」、「山歩きのコツ」、「美味しい作物を育てる大変さ」などの様々なお話を通して、都会の日常では感じ取れない自然の厳しさや大切さを教わっています。



南相木村は総面積の8割程度を山林原野が占め、
その谷間を縫うように川が流れる自然豊かな村です。

●南相木村WEBサイト：http://www.minamiaiki.jp/

「セガの森」が誕生した、2008年から設置しているアドプトサイン（森林が「セガの森」であることを表す看板）。南相木小学校の生徒の皆さんが、「自然と共に育む未来」をテーマに絵を描いてくださいました。



参加者の声

ブルーベリー狩りや魚つかみ取り、BBQ、花火などどれも家族全員とても楽しめました。

子どもたちも「もう1泊したい！」と名残惜しそうにしていました。友達もでき、2日目にはたくさんの野菜をいただいたり、本当に素敵な体験でした。

イベントが盛りだくさんで、全体を通して大満足のイベントでした！！子どもたちも早速帰ってから夏休みの絵日記にセガの森を書いていました。

南相木村の皆さんとのBBQだけでなく、村の良さ、人の良さを感じることができて楽しかったです。

みんなで創ろう一ツ葉の森林

PHOENIX SEAGAIA RESORT

R 「黒松の森宣言」を策定し、黒松林の環境保全活動に取り組んでいるフェニックス・シーガイア・リゾート（以下PSR）では、宮崎森林管理署主催「森づくり祭」に参加しています。2018年3月に、国有林でもある一ツ葉海岸（宮崎市佐土原町周辺）にて「みんなで創ろう一ツ葉の森林」のテーマのもと、黒松（2000年度に植栽）の枝打ち作業を実施しました。2018年度は、地元行政や住民の皆さま、雨の中の作業にも関わらず林業関係者など約60名が参加するなか、PSRからも4名が参加し、地域一帯の活動に取り組みました。この黒松がかけがえのない財産として、次世代へ引き継がれるためにも、地域の皆さまとともに守り、育んでいきます。





廃プラスチック問題への対応

E ゲームセンターのプラスチック袋削減に向け、各店舗がそれぞれの地域・施設の基準に従って適切な分別を行い、産業廃棄物処理業者と契約を締結して処理することに努めています。また、製品梱包の簡易化によるごみ削減はメーカーの責任との認識に立ち、出荷時の袋を再利用するなど、最低限の梱包にとどめています。

ゲームセンターの使用電力の削減に向けた取り組み

E 施設照明のLED化を進めるとともに、改装店舗を中心に空調設備の入れ替えに取り組んでいます。また、電気供給会社を統一し、各店舗が最適な電気使用量になるように観察をしています。2019年3月31日現在、環境法令違反はゼロです。

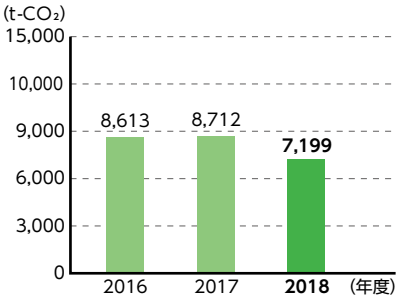
環境に関するデータ

対象範囲

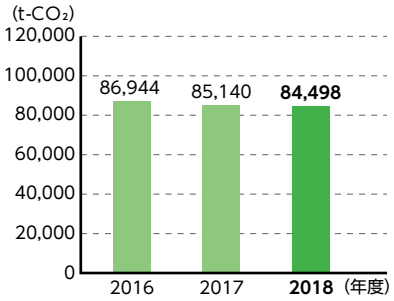
データ集計範囲　15社
●SSHD/SHD/SAMMY/TOYS/TMS/SNW/PSR/SE/SIC/SGC/SLS/DL/JMS/BTF/JNEXT

※略称は、P.02参照

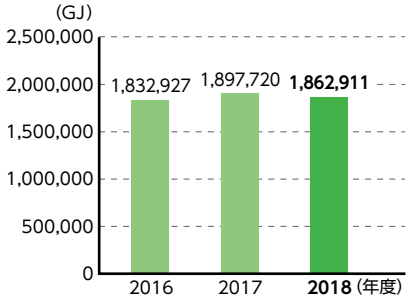
● CO_2排出量（スコープ1）



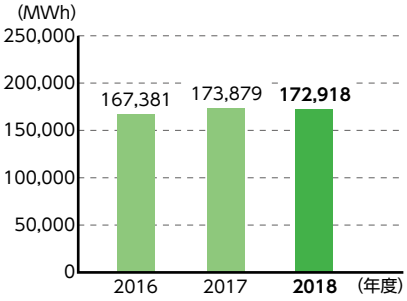
● CO_2排出量（スコープ2）



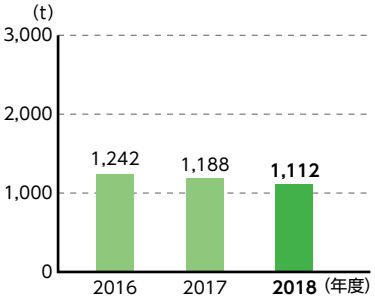
● 総エネルギー投入量



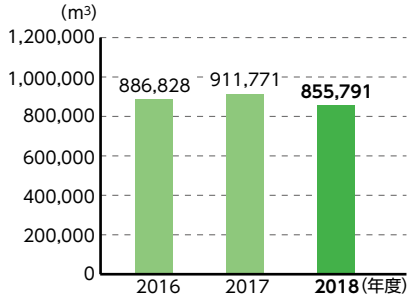
● 電力使用量



● 産業廃棄物排出量



● 水使用量



- 集計データの一部に床面積による推計値を含みます。
- CO_2総排出量の減少は、燃料使用量及び電気使用量の削減が主要因です。
- 購入電力のCO_2排出係数：各報告年度の前年度の電気事業者別の調整後排出係数を使用しています。

● サミー川越工場における環境配慮の状況

			2016年度	2017年度	2018年度	備考
遊技機のリサイクル率の推移	リサイクル率(%)		97.21	95.99	95.00	ぱちんこ・パチスロ合算
環境配慮素材の利用	木材使用量(t)		1,494	566	370	
		うちPEFC認証木材※	84t(5.6%)	38t(6.8%)	51t(13.8%)	

- 接着剤は、水系接着剤を含めて川越工場では使用しておりません。

※ PEFC認証木材：PEFC森林認証プログラム(Programme for the Endorsement of Forest Certification Schemes)により認証され、第三者機関より持続可能な森林管理の認証を受けた森林より適切に調達された木材です。PEFC認証木材が使用できる製品の生産量が減少したことにより、使用量が減少しました。

社会とともに 社会貢献

グループCSR憲章

私たちは、企業市民として社会を構成する一員であることを強く自覚し、事業活動等を通じた社会貢献、芸術・スポーツなどの文化の発展支援、地球環境保護への取り組みを、積極的かつ自主的に行います。

グループ行動規範

「本業の繁栄」

(1) お客さまに喜んでいただける商品・サービスの供により本来の事業の繁栄を常に目指し、納税・雇用の創出により社会に貢献することを忘れません。

「社会への貢献」「寄付」

(2) 事業活動を通じて社会に貢献するのみならず、芸術・スポーツなどの文化の支援にも積極的かつ自主的に取組み、豊かな社会の実現に貢献します。

(3) 寄付を含む社会貢献活動を行う際は、税法・商法・政治資金規正法等の関係法令に従って定められた社内ルールを遵守して、公明正大に行います。



(株)ダーツライブ
ダーツライブサービス戦略本部
SPORTS推進部 SPORTS推進
チーム リーダー

長嶋 宣幸
(Nobuyuki, Nagashima)

「ダーツを大人の遊びだけに留めておくのはもったいない、オリンピックの追加種目を目指せる競技だ」と、私は真面目に考えています。その夢を実現しようと逆算して考えた場合、「ダーツ＝スポーツ」という世界観を幅広い世代に伝えていくことは必要不可欠です。その取り組みの中でしかるべき時に備え実績を積み上げておきたいと思い、ダーツ友達であった田崎先生に相談をさせていただきました。その小学校で見た、子どもたちがダーツで一喜一憂する姿を全国に広げていきたいと思います。





ダーツを通して、子どもたちの可能性を！

DARTS

次世代育成支援

小学校のクラブ活動でダーツを実施

セガサミーグループでは、次世代育成支援の一環として、小学校での体験プログラムを実施しています。

小学4年～6年生を対象としたクラブ活動で新しい取り組みができないかと模索していた中、ダーツライブの長嶋さんからご提案をいただいたのがスタートのきっかけです。

子どもたちにダーツを体験してもらったところ、反応は想像以上で、2017年からクラブ活動の一環として取り入れました。現在は約20名が参加しています。準備から運営、片付けまで、子どもたちが行うことで、自発的行動につながっています。また、点数を手計算することで、計算力の向上に役立っています。

ダーツは学年も性別も運動の得意不得意も関係ありません。みんなが一緒にダーツをプレイし、高得点を出した子をみんなで称賛しあったり、競い合ったりと、子どもたちが夢中になっている姿から、当初の想像以上の効果を感じています。

横浜市立森の台小学校
(左)**田崎 誠** 教諭
(Tasaki, Makoto)



JAPANプロダーツ プレイヤー

鈴木 未来 (Suzuki, Mikuru)

質問コーナーの時に子ども達がキラキラした目で夢をたくさん語ってくれたのは、私にとっても凄くいい経験となりました。違う世代同士の触れ合いが増えて、ダーツというものがいろいろな世代に認知され、憧れられるようにしたいなと思います。



社会支援

東京レインボープライド2019に協賛

セガサミーグループはSDGs（持続可能な開発目標）の実現を通じて多くの個性が活躍できる社会の実現のためにダイバーシティを推進しています。その一環としてLGBTをはじめとするセクシャル・マイノリティの存在を社会に広め、「“性”と“生”の多様性」を祝福する「東京レインボープライド2019」に協賛いたしました。4月28日に行われたパレードにも社員家族40名が参加。すべての人が、より自分らしく誇りをもって、前向きに楽しく生きていくことができる社会の実現を目指します。



小学生向けプログラミング教室

文部科学省による2020年のプログラミング教育必修化にあたり、子どもたちに楽しく学んでいただくための「プログラミング・ワークショップ」を2016年から実施。2018年度はイベントを「セガラボ」としてショッピングセンターや公共施設などを中心に全国各地で実施。1,500名以上の小学生と保護者の方に参加いただきました。毎回すぐに満員御礼になるほどの人気です。現在はロボット、ドローンでの体験プログラムで実施しており、これからさらにコンテンツを増やしていく計画です。今後も、子どもたちの笑顔と感動を生み出す空間を創造し、社会へ貢献していきます。



UC Berkeley Haasとの IBDプロジェクト2019

セガサミーグループは、カリフォルニア大学バークレー校 ハース・スクール・オブ・ビジネス（Haas School of Business, University of California Berkeley）との共同プロジェクト「IBDプログラム2019（International Business Development 2019）」に参画しました。

これは、同校の学生が世界中のクライアントとともに課題解決に取り組むもので、世界89ヶ国で468プロジェクトがなされた実績があります。

セガサミーグループは今回初めて参画し、同校の学生5名とともにプロジェクトチームを形成し、特定のタスクについてオンライン／オンサイトなど様々な手法で取り組みました。米国、コロンビア、インドなど多様なバックグラウンドを持つ同校の学生とセガサミーグループとの半年超にわたる共創の日々は、双方にとって刺激的なものでありました。



NPOとの協働による 玩具の寄贈と玩具除菌活動

2009年度より毎年継続実施し10回目を迎えたこの取り組みは、認定特定非営利法人日本NPOセンターとともに非営利団体を選定し寄贈しています。

2018年度は、小児がんや小児の難病治療の家族の滞在支援をする認定NPO法人ファミリーハウスさまへ、病室のベッド上で過ごすお子さまとご家族に笑顔と勇気をお届けするためにセガトイズの商品124点を寄贈しました。

玩具を気持ち良くお使いになっていただけるよう、当社グループの社員が宿泊施設を訪問し、一般のボランティアの方々と一緒に玩具やぬいぐるみの除菌作業を継続し、行っています。

今後もすべての子どもたちとその家族が笑顔になっていただく取り組みを展開していきます。



ファミリーハウスさまからの寄付報告書

子どもの食の支援を応援

PHOENIX SEAGAIA RESORT

グループの事業や施設利用を通して「子どもたちの成長を支えたい」という思いから、大崎本社がある品川区が活動を支援している「子ども食堂」へ野菜（じゃがいも・たまねぎ）を寄贈しました。フェニックス・シーガイア・リゾートの敷地を利用し、社員食堂用に栽培している野菜の一部を提供しました。今後も子どもたちの笑顔のために積極的に支援を継続していきます。



絵本を届ける運動

SEGASammy

紛争地域などに暮らす子どもたちへのエンタテインメントを通じた貢献を目的として、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会の「絵本を届ける運動」に参加しています。オフィスや家にある不用品を回収し、その売却金で絵本を購入、現地語訳のシールを貼り、送付までの一連の活動を、グループ19社の社員で分担。2009年の活動開始から計2,472冊の絵本を現地へ送り出すことができました。エンタテインメントを通して、すべての子どもたちに生きる力や夢を持つことができる世界が訪れることを祈り、これからも同活動を行っていきます。



スポーツ・芸術・文化支援

『一般財団法人 セガサミー文化芸術財団』を設立

SEGASammy

感動体験を創造し続ける企業として社会に貢献していくためには、文化・芸術分野の発展は不可欠の要素と考え、様々な作品や提案を広く社会で共有し、継続的に育んでいくことが何よりも大切なことと考えています。セガサミーグループでは、当財団を通じ積極的に文化・芸術活動の発展に寄与し、豊かな社会の実現を目指した活動を行っていきます。



写真提供：愛知県芸術劇場©Naoshi Hatori

世界トップクラスのダンスカンパニーNDT公演を13年ぶりに日本で実現in横浜（特別協賛）

パラ・ノルディックスキー日本チームの継続的支援

SEGASammy

セガサミーグループは、特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟を母体とするパラ・ノルディックスキー日本チームを継続的に支援しています。

同連盟は、障がい者およびその関係者がクロスカントリースキーやバイアスロンに親しみ、競技力の向上と同競技の振興と普及を図ることを目的とする組織です。「障がいのある方たちに、クロスカントリースキーやバイアスロンの楽しさを知っていただき、健康な体づくりを目指してほしい。パラリンピックなどを目指す障がいのある青少年に夢を与えたい」という思いで活動する同チームに、これからも支援を続けます。



『NPO法人日本障害者ゴルフ選手会』への支援

SEGASammy

日本国内における障害者ゴルフを取り巻く環境は、一般社会への認知度の低さに加えて、障がい者への周知もまだ十分とはいえず、障がい者が自由にゴルフを楽しめる機会や環境も少ないのが現状です。障がい者ゴルフを通じ、障がいがあっても生き甲斐を持って安心して楽しく過ごすことができ、障がいをもつ子どもたちの未来に夢と希望を持てる社会づくりを行うNPO法人日本障害者ゴルフ選手会の活動を、寄付や告知活動などを通じて支援しています。



スポーツ・芸術・文化支援

「ジュニアスポーツフェスティバル」を開催

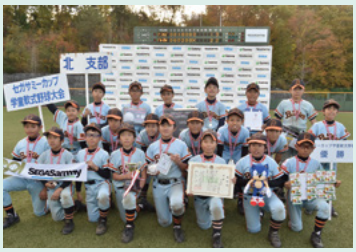
「長嶋茂雄INVITATIONAL セガサミーカップゴルフトーナメント」の開催地である千歳市、恵庭市、苫小牧市の小中学生を対象に、一流の講師が直接指導を行うスポーツ教室『ジュニア スポーツフェスティバル』を開催しました。今回で12回目の開催となる本イベントでは、2019年2～8月の期間中に14競技の教室を開催。1,500名を超える子どもたちが参加しました。苫小牧市で開催したサッカー教室では、2018年までコンサドーレ札幌でキャプテンを務めた、OBの河合竜二氏が「コミュニケーションの大切さ」「考えてプレーすることの大切さ」を子どもたちに伝えました。

このイベントがさらに地元に愛されるものとなるよう、これからも取り組みを続けていきます。



「セガサミーカップ 学童軟式野球大会」への特別協賛

セガサミーグループは、東京都学童野球のレベルアップという大会の目的に賛同し、『セガサミーカップ学童軟式野球大会』に特別協賛しています。10回目の開催となった記念大会には16チームが出場。八王子市のセガサミー野球場と滝ガ原運動場で、321名の選手たちが熱戦を繰り広げました。また開会式当日には、セガサミー野球部現役選手による野球教室や、セガサミー野球部監督・コーチによる指導者向けの講習会など、野球教育のボトムアップの一助となるイベントも行われました。累計参加者数2,500名を誇るこの大会が、子どもたちの夢を叶えるステージになれるよう、今後も協賛活動を続けていきます。



「感動体験を創造しよう、その足で」

2017年11月より発足した「SAMMY SOCCER PROJECT」は“感動体験の創造”というグループミッションに基づいて実施する「SAMMY×SOCCER＝～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というサッカーの本質的な楽しさを親子に再認識してもらうためのプロジェクトです。

サッカーの本質的価値＝見て楽しい、興奮・感動できる“ココロを動かすサッカー”を次世代の子どもたちを中心に伝え、“夢”の実現をサポートし、感動体験を創造・波及拡大の活動を続けていきます。2019年4月にはヤングアスリート（小学生）向けの「サッカークリニック」と保護者・初心者コーチ向けの「SSP QUESTION」というプログラムを同時開催し、のべ300名が参加しました。



「TOKYO JAZZ FESTIVAL」への特別協賛

芸術・文化支援活動の一環として、世界中から一流のジャズアーティストが一堂に会する国内最大級のイベント「東京ジャズフェスティバル」への特別協賛を2002年の第1回開催より継続しています。「国境を越えて、世代を超えて」をテーマに毎年開催、良質な都市型音楽フェスティバルとして高い評価を得ています。



地域活動

ノルディック・ウォーキング

オアシスパークは、公園のフィールドを使ったソーシャルビジネスとして、2本のポールを使ったウォーキング「ノルディック・ウォーキング体験教室」を始めました。2018年12月に初開催し、2019年6月までに6回開催しました。認知症予防、健康づくりを始めたいシニアの方を中心に、のべ300名の方に参加していただきました。

参加者からは、「健康寿命を伸ばすためにも今後も継続してほしい」、という声をいただいています。今後は、月1回開催を基本に、健康志向のシニアの方が、コミュニティをつくり、公園でノルディック・ウォーキングを楽しむための環境づくりをしていきます。



地域活動

八王子市内の児童養護施設との交流

セガサミー野球部は、拠点のある八王子市内の児童養護施設（3ヶ所）を、2010年より毎年12月に訪れ、クリスマスイベントとして、子どもたちと交流を図っています。2018年は野球部員ら9名が訪問。クリスマスプレゼントを贈呈したり、ティーボールで体を動かしたり、当日はたくさんの笑い声が溢れました。今後も地域との交流を図り、地域の方々に愛される野球部を目指していきます。



「小江戸川越ハーフマラソン2019」への特別協賛

サミー川越工場の地元で毎年開催される「小江戸川越ハーフマラソン」に2010年の第1回開催から継続して特別協賛しています。

2018年11月の大会は、約10,000名のランナーが出場しました。

地域学生の職業観の醸成、マナー向上を支援

フェニックス・シーガイア・リゾートでは、地域の中学、高校、大学に協力し、学生の職業観の早期醸成、マナー向上のために社会体験研修や講話、見学会などを実施しています。

マナー講座（出前授業）では、社会体験前の事前講習や進学・就職を目指す学生の面接指導などを行い、見学会では、福祉科の高校生へバリアフリールームの見学や相手に与える印象をワンポイントマナー講座でお話ししています。

今後も、お客さまの快適な時間を創造するフェニックス・シーガイア・リゾートだからこそ伝え、提供できる支援をし、地域の成長発展に貢献していきます。



※ 2018年度実績
マナー講座（3件 390名）、
バリアフリー見学会（2件 60名）

佐倉市産業まつり「佐倉モノづくりFesta2018」へ出展

セガ・ロジスティクスサービスでは、佐倉事業所の地元で開催される『佐倉モノづくりFesta』に毎年出展しています。2018年は「佐倉市民体育館」の常設ブース（市内企業が誇る多種多様な製品や技術の体験や展示）にUFOキャッチャーを出展し大勢の方々に体験していただきました。これからも地域社会の一員として活動していきます。



毎年夏に三浦海岸で開催している音楽イベント「OTODAMA SEA STUDIO」

2019年は隣の津久井浜海岸（横須賀市）で5月に開催されるウインドサーフィン ワールドカップと連携し、海岸の新たな賑わいを創出します。地域活性化と海水浴以外の海岸の有効活用を目的とし、音楽・ビーチスポーツ・ビーチアクティビティを一度に楽しめる初の長期の試みは三浦市・横須賀市・神奈川県の理解と協力のもと実現しました。



セガサミーホールディングス株式会社

CSR・SDGs推進室
〒141-0033　東京都品川区西品川一丁目1番1号
住友不動産大崎ガーデンタワー
TEL：03-6864-2408
URL：https://www.segasammy.co.jp

統合レポートとの関連性

2018年より本レポートは「CSR BOOKLET」として、統合レポートに掲載されていない項目やCSRの観点でより深く報告すべき項目を掲載しています。社員のVOICEコーナーを充実させることで、セガサミーグループの事業や取り組み、働き方をより具体的に感じていただけるように構成しています。
統合レポートでは財務情報、特に投資家が重視する非財務のESG情報を加えて報告しています。



統合レポートについては、ホールディングスWEBサイトIRページをご覧ください。

WEB https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/library/printing_annual/

免責事項

本レポートには、セガサミーグループの過去と現在の事実だけでなく、社会情勢に関する予想や発行日時点での経営計画や見通し、将来予測が含まれています。これらの予想・予測は、記述した時点で入手できた情報に基づいた仮定ないし判断であり、諸条件の変化によって、将来の社会情勢や事業活動の結果が異なったものとなる可能性があります。読者の皆さまには、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

UD FONT by MORISAWA
だれにも読みやすい、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。